

参 考

参考 1 - 1 図 1 関係

ポアソン回帰モデルによる経験仕事数の要因分析

説明変数	女	男
学校卒業直後の就業形態(基準:正規雇用)		
役員・自営業主・家族従業者	-0.133	-0.117
パート・アルバイト	0.299 ***	0.528 ***
派遣社員	0.201 **	0.568 ***
契約社員・嘱託	0.162 ***	0.419 ***
その他	0.137 *	0.263 ***
無職	-0.216 ***	-0.072
学校卒業時点からの経過年数(二重対数値)	1.000	1.000
未婚ダミー	-0.008	0.138 ***
定数項	0.092 ***	-0.259 ***
観測値数	4530	3467

* p<.1; ** p<.05; *** p<.01

注: 第1回調査から第10回調査まで連続して回答した者のうち、第10回調査の時点で30歳以上だった者を対象

学校卒業時点からの経過年数は二重対数化した値

「無職」は、学校卒業後1年間以上何の職にも就かなかった者

「未婚ダミー」は、第10回調査時点で未婚だった場合に1の値をとるダミー変数

就業形態の「その他」には「内職」を含む

学歴は、最後に卒業した学校による分類

【経験仕事数の計算方法について】

図1では、暴露期間（exposure time）を仮定したポアソン回帰モデルによって経験仕事数を計算した。暴露期間を仮定したポアソン回帰モデルでは、個人*i*の期間*t*までにおけるイベント発生数の期待値 $u_i t_i$ は、以下の式によって表される。

$$u_i t_i = \exp(\beta_0 + \beta_1 X_1 + \beta_2 X_2 \cdots + \beta_n X_n) \times t_i$$

β_0 ：定数、 β_n ：変数 X_n の係数、 t_i ：暴露期間

図1では、上記の式を用いて、未婚者の各就業形態における経験仕事数の期待値を算出した。期待値の算出にあたり、暴露期間 t_i には、女性は15.7年、男性は16.3年の自然対数値をそれぞれ用いた。これらの値は、分析サンプル中における未婚男女の学校卒業時からの経過年数の平均値である。

その結果、未婚男女の各就業形態における経験仕事数の期待値は以下となった。

	女	男
役員・自営業主・家族従業者	2.6	2.2
パート・アルバイト	4.0	4.2
派遣社員	3.7	4.4
契約社員・嘱託	3.5	3.8
その他	3.4	3.2
無職	2.4	2.3
正規雇用	3.0	2.5

参考1-2 図2関係

2段階順序ロジット・モデルによる結婚意欲の要因分析

説明変数	女	男
就業形態(基準:正規雇用)		
役員・自営業主・家族従業者	-0.046 *	-0.016
パート・アルバイト	-0.046 ***	-0.092 ***
派遣社員	-0.052 ***	-0.093 ***
契約社員・嘱託	-0.023 **	-0.064 ***
その他	-0.016	-0.083 ***
無職	-0.075 **	-0.125 ***
学歴(基準:中学卒)		
高校	0.172 ***	0.092 ***
短大・高専	0.217 ***	0.125 ***
大学・大学院	0.229 ***	0.154 ***
逆ミルズ比	-0.095 **	0.019
時点ダミー	Yes	Yes
年齢ダミー	Yes	Yes
定数 1	-3.385	-3.317
定数 2	-1.944	-1.937
定数 3	-0.358	-0.167
定数 4	1.291	1.572
未婚選択関数		
就業形態(基準:正規雇用)		
役員・自営業主・家族従業者	-0.272 ***	-0.106 ***
パート・アルバイト	-0.257 ***	0.447 ***
派遣社員	0.079 ***	0.303 ***
契約社員・嘱託	-0.021 *	0.248 ***
その他	-0.226 ***	0.179 ***
無職	-0.420 ***	0.457 ***
学歴(基準:中学卒)		
高校	-0.059 ***	0.081 ***
短大・高専	0.018	0.165 ***
大学・大学院	0.120 ***	0.153 ***
死別		
父	-0.088 ***	-0.112 ***
母	-0.042 ***	-0.135 ***
時点ダミー	Yes	Yes
年齢ダミー	Yes	Yes
観測値数	45565	42237

* p<.1; ** p<.05; *** p<.01

注: 限界効果を表示(順序ロジットについては、「絶対したい」を選ぶ確率)

定数1~4については、係数を表示

就業形態の「その他」には「内職」を含む

学歴は、最後に卒業した学校による分類

「時点ダミー」は、各調査年に回答した場合に1の値をとるダミー変数

「年齢ダミー」は、18歳から43歳まで各年齢の場合に1の値をとるダミー変数

参考2-1 図3関係

離散時間 complementary log-log モデルによる結婚のハザード比：
学校卒業直後の就業状況を用いたモデル

説明変数	女			男		
	総数 exp(b)	20-29歳 exp(b)	30歳以上 exp(b)	総数 exp(b)	20-29歳 exp(b)	30歳以上 exp(b)
年齢スプライン(基準:24歳)						
20-24歳	1.26 **	1.24 **	・	1.28 **	1.27 **	・
25-29歳	1.04	1.06	・	1.02	1.03	・
30-34歳	0.91 **	・	0.97	0.95	・	0.98
35歳以上	0.87 *	・	0.85 **	0.88 **	・	0.87 **
学歴(基準:中学校・高校)						
短大・高専・専門学校	0.76	0.82	2.65 ***	0.56 **	0.60 **	1.32
大学・大学院	0.79	0.79	1.87 **	0.58 ***	0.57 ***	1.55 *
年齢スプライン×学歴						
20-24歳×短大・高専・専門学校	1.15	1.17	・	1.04	1.07	・
20-24歳×大学・大学院	1.92 ***	1.80 ***	・	1.55 *	1.61 **	・
25-29歳×短大・高専・専門学校	1.16 ***	1.10 *	・	1.13 *	1.09	・
25-29歳×大学・大学院	1.16 ***	1.15 **	・	1.23 ***	1.24 ***	・
30-34歳×短大・高専・専門学校	0.97	・	0.83 **	1.01	・	0.94
30-34歳×大学・大学院	1.00	・	0.97	0.98	・	0.99
35歳以上×短大・高専・専門学校	1.12	・	1.19 *	0.98	・	1.01
35歳以上×大学・大学院	1.04	・	1.05	1.07	・	1.07
学校卒業直後の就業状況(基準:正規雇用)						
役員・自営業・家族従業・内職	0.98	0.94	1.04	0.82	0.73	0.95
パート・アルバイト	0.76 ***	0.76 **	0.77 *	0.83	0.88	0.75
派遣社員・契約社員・嘱託	0.91	0.90	0.94	1.12	1.01	1.26
無職	0.83 **	0.67 ***	1.07	0.75 ***	0.68 ***	0.83
就業形態(基準:正規雇用)						
役員・自営業・家族従業・内職	0.55 ***	0.43 ***	0.67	1.27 **	1.29 *	1.26 *
パート・アルバイト	0.79 ***	0.77 **	0.84	0.42 ***	0.40 ***	0.46 ***
派遣社員	0.91	0.98	0.84	0.29 ***	0.35 **	0.24 **
契約社員・嘱託	0.97	0.99	0.96	0.71 *	0.62 *	0.84
無職	0.80 **	0.93	0.63 **	0.23 ***	0.33 ***	0.13 ***
学生	0.61 **	0.46 **	0.99	0.28 ***	0.35 ***	・
親との同別居(基準:両親と同居)						
別居	1.17 **	1.35 ***	0.96	1.66 ***	1.74 ***	1.56 ***
片親と同居	0.96	1.02	0.88	0.79 **	0.83	0.76 *
第1回調査時 居住都道府県の 静態平均初婚年齢	0.86 ***	0.86 **	0.86 *	0.82 ***	0.74 ***	0.92
第1回調査時 居住市区町村の 都市規模(基準:人口15万人以上の市)						
大都市	0.96	0.89	1.08	1.06	1.14	0.98
人口15万人未満の市・郡部	1.16 **	1.07	1.32 ***	1.30 ***	1.29 **	1.32 ***
定数	0.07 ***	0.07 ***	0.06 ***	0.08 ***	0.11 ***	0.06 ***
Person-year数	24149	15177	8972	24817	13791	10928
サンプル数	4853	3959	2299	4968	3740	2754
イベント数	1427	864	563	1080	548	532
カイ2乗値	307.63	222.34	109.15	452.66	292.63	172.30
自由度	29	23	23	29	23	22

* p<.1; ** p<.05; *** p<.01

注: 第1回調査時に未婚で、初回調査より連続して2回以上回答している者について、結婚が生起するか、結婚が生起せずに調査から脱落するまでのデータを集計
学歴は、最後に卒業又は中退した学校による分類
学校卒業直後の就業状況について、学校卒業後に半年以上無職である場合に「無職」とした
親との同別居の「別居」には両親と死別、「片親と同居」には片親と死別を含む
第1回調査時居住都道府県の人口規模等は「平成13年国民生活基礎調査」時のもので、「大都市」は、13大都市(東京都区部、札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市)

参考2-2 図4関係

離散時間 complementary log-log モデルによる結婚のハザード比：
収入を用いたモデル

説明変数	女			男		
	総数 exp(b)	20-29歳 exp(b)	30歳以上 exp(b)	総数 exp(b)	20-29歳 exp(b)	30歳以上 exp(b)
年齢スプライン(基点:24歳)						
20-24歳	1.24 **	1.22 **	・	1.26 **	1.26 **	・
25-29歳	1.04	1.06	・	1.01	1.03	・
30-34歳	0.91 **	・	0.98	0.95	・	0.97
35歳以上	0.87 *	・	0.85 **	0.88 **	・	0.87 **
学歴(基準:中学校・高校)						
短大・高専・専門学校	0.75 *	0.80	2.53 ***	0.57 **	0.61 *	1.34
大学・大学院	0.80	0.79	1.77 *	0.61 **	0.59 **	1.50
年齢スプライン×学歴						
20-24歳×短大・高専・専門学校	1.10	1.13	・	1.02	1.05	・
20-24歳×大学・大学院	1.77 ***	1.67 **	・	1.50 *	1.57 *	・
25-29歳×短大・高専・専門学校	1.15 ***	1.10 *	・	1.13 *	1.09	・
25-29歳×大学・大学院	1.14 **	1.13 **	・	1.21 ***	1.22 ***	・
30-34歳×短大・高専・専門学校	0.96	・	0.83 **	1.00	・	0.94
30-34歳×大学・大学院	1.00	・	0.97	0.98	・	0.99
35歳以上×短大・高専・専門学校	1.12	・	1.19 *	0.98	・	1.00
35歳以上×大学・大学院	1.04	・	1.05	1.07	・	1.06
就業形態(基準:正規雇用)						
役員・自営業・家族従業・内職	0.58 ***	0.43 ***	0.76	1.25 **	1.19	1.30 **
パート・アルバイト	0.83 **	0.76 **	0.97	0.45 ***	0.41 ***	0.53 **
派遣社員	0.94	1.00	0.90	0.31 ***	0.35 **	0.27 **
契約社員・嘱託	0.98	0.96	1.03	0.76	0.62 *	0.95
無職	1.05	1.10	1.00	0.26 ***	0.33 ***	0.17 ***
学生	0.72	0.52 **	1.19	0.30 ***	0.36 ***	・
親との同別居(基準:両親と同居)						
別居	1.14 *	1.33 ***	0.92	1.63 ***	1.72 ***	1.52 ***
片親と同居	0.96	1.02	0.88	0.79 **	0.82	0.76 **
第1回調査時 居住都道府県の 静態平均初婚年齢	0.85 ***	0.85 **	0.84 **	0.80 ***	0.72 ***	0.89
第1回調査時 居住市区町村の 都市規模(基準:人口15万人以上の市)						
大都市	0.96	0.89	1.08	1.04	1.13	0.96
人口15万人未満の市・郡部	1.17 ***	1.08	1.35 ***	1.32 ***	1.31 ***	1.36 ***
女性: Ln(収入(万円))	1.166 ***	1.148 ***	1.203 ***	・	・	・
男性: 収入(10万円)	・	・	・	1.009 ***	1.007 *	1.010 ***
定数	0.03 ***	0.03 ***	0.02 ***	0.06 ***	0.09 ***	0.04 ***
Person-year数	24149	15177	8972	24817	13791	10928
サンプル数	4853	3959	2299	4968	3740	2754
イベント数	1427	864	563	1080	548	532
カイ2乗値	308.71	217.36	111.55	470.67	291.64	177.53
自由度	26	20	20	26	20	19

* p<.1; ** p<.05; *** p<.01

注: 第1回調査時に未婚で、初回調査より連続して2回以上回答している者について、結婚が生起するか、結婚が生起せずに調査から脱落するまでのデータを集計

学歴は、最後に卒業又は中退した学校による分類

親との同別居の「別居」には両親と死別、「片親と同居」には片親と死別を含む

第1回調査時居住都道府県の人口規模等は「平成13年国民生活基礎調査」時のもので、「大都市」は、13大都市(東京都区部、札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市)

収入は、調査前年の1年間に本人が働いて得た所得(税込み)及びその他の所得の合計であり、各年の消費者物価指数で調整した

【収入別の結婚のハザード比（相対確率）の計算方法について】

図4の収入の効果については、線形、二次関数、自然対数によるあてはめの検討を行い、尤度比検定によって最もデータにあてはまりの良いものを用いた。その結果、女性のモデルでは収入を自然対数によって変換したモデルを、男性のモデルでは収入の実数をそのまま用いた（線形）モデルを選択した。なお、男性のモデルでは、収入の実数値（万円単位）をそのまま用いた場合は、算出されるハザード比の値が小さくなり、解釈が行いにくいことから、収入を10で割った値を用いた。その場合に算出されるハザード比は、収入が10万円増えた場合に、結婚のハザード確率が何倍になるのかを表している。

女性のモデルにおいては、収入の自然対数値に対するハザード比が示されている。このハザード比から収入別の結婚のハザード比（相対確率）を算出する方法は以下であり、収入のハザード比に収入の対数値を乗数倍していく。

$$\exp(b_{inc})^{\ln(X_{inc})}$$

$\exp(b_{inc})$: 収入の結婚のハザード比、 $\ln(X_{inc})$: 収入の対数値

一方、男性のモデルにおいては、10万円を一単位とした収入に対するハザード比が示されている。このハザード比から収入別の結婚のハザード比（相対確率）を算出する方法は以下であり、収入のハザード比に収入を10で割った値を乗数倍していく。

$$\exp(b_{inc})^{(X_{inc}/10)}$$

$\exp(b_{inc})$: 収入の結婚のハザード比、 $X_{inc}/10$: 収入を10で割った値

上記の計算式で、計算した結婚のハザード比は以下である。図4では収入が女性で200万円、男性で250万円の結婚のハザード確率を100%とするので、表中の値を100倍したものが相対確率となる。

女				男			
収入(万円)	総数	20-29歳	30歳以上	収入(万円)	総数	20-29歳	30歳以上
1	0.44	0.48	0.38	1	0.80	0.84	0.77
10	0.63	0.66	0.57	10	0.80	0.85	0.78
50	0.81	0.83	0.77	50	0.83	0.87	0.81
100	0.90	0.91	0.88	100	0.87	0.90	0.86
150	0.96	0.96	0.95	150	0.91	0.93	0.90
200	1.00	1.00	1.00	200	0.96	0.97	0.95
250	1.03	1.03	1.04	250	1.00	1.00	1.00
300	1.06	1.06	1.08	300	1.05	1.03	1.05
400	1.11	1.10	1.14	400	1.15	1.11	1.17
500	1.15	1.14	1.18	500	1.25	1.18	1.29
600	1.18	1.16	1.23	600	1.37	1.27	1.43
700	1.21	1.19	1.26	700	1.50	1.36	1.59
800	1.24	1.21	1.29	800	1.65	1.45	1.76
				1000	1.97	1.66	2.16

参考3-1 図5関係

離散時間 complementary log-log モデルによる第1子出生のハザード比：
妻の就業を用いたモデル

説明変数	結婚期間			
	総数(0-10年) exp(b)	0-1年未満 exp(b)	1-5年未満 exp(b)	5年以上 exp(b)
結婚期間スプライン(基点:1年目)				
0-1年未満	2.68 ***	3.89 ***	・	・
1-5年未満	0.68 ***	・	0.79 ***	・
5年以上	0.76 ***	・	・	0.78 ***
妻の学歴(基準:中学・高校)				
短大・高専・専門学校	0.93	0.85	1.17 *	1.77 ***
大学・大学院	0.87	0.89	1.12	2.16 ***
結婚期間スプライン×妻の学歴				
0-1年未満×短大・高専・専門学校	0.85	・	・	・
0-1年未満×大学・大学院	2.20	・	・	・
1-5年未満×短大・高専・専門学校	1.14 **	・	・	・
1-5年未満×大学・大学院	1.23 ***	・	・	・
5年以上×短大・高専・専門学校	1.02	・	・	・
5年以上×大学・大学院	1.01	・	・	・
妻の結婚時の年齢(基準:25-29歳)				
20-24歳	1.14	1.49 *	1.07	1.21
30-34歳	0.74 ***	0.90	0.72 ***	0.70
35歳以上	0.56 ***	0.98	0.51 ***	0.24
親との同別居(基準:同居なし)				
同居あり	1.71 ***	4.61 ***	1.38 ***	1.37
妻の就業形態(基準:正規雇用)				
無職	1.02	0.93	1.02	1.18
役員・自営業・家族従業・内職	0.63 ***	0.28 **	0.74 *	0.59
パート・アルバイト	0.68 ***	0.55 **	0.66 ***	1.02
派遣社員・契約社員・嘱託	0.69 ***	0.82	0.64 ***	0.92
夫の就業形態(基準:正規雇用)				
役員・自営業・家族従業・内職	1.07	1.67 **	0.95	1.14
非正規雇用・無職	0.91	2.10 ***	0.76 *	0.55
定数	0.05 ***	0.03 ***	0.04 ***	0.01 ***
Person-month数	59603	6430	34265	18908
サンプル数	2273	1143	1887	631
イベント数	1271	185	941	145
カイ2乗値	442.29	187.37	148.31	45.37
自由度	21	13	13	13

* p<.1; ** p<.05; *** p<.01

注：第1回調査時に子どもがいない夫婦と、調査期間中に結婚をした者について、第1子の妊娠が判明するか、妊娠が判明せずに調査から脱落若しくは夫婦の同居関係が解消するまでのデータを集計
調査期間中に結婚をした者については、結婚をした時点からのデータを使用
結婚期間は、各回調査で把握している「同居を開始した年月」からの期間
妻の学歴は、最後に卒業した学校による分類
親との同別居の「同居なし」には親と別居、死別を含む
妻・夫の就業形態「無職」には学生を含む

参考 3-2 図 6 関係

離散時間 complementary log-log モデルによる第 1 子出生のハザード比：
妻の職場での育児休業制度の有無を用いたモデル

説明変数	結婚期間			
	総数(0-10年) exp(b)	0-1年未満 exp(b)	1-5年未満 exp(b)	5年以上 exp(b)
結婚期間スプライン(基点:1年目)				
0-1年未満	2.61 **	3.81 ***	・	・
1-5年未満	0.68 ***	・	0.78 ***	・
5年以上	0.76 ***	・	・	0.78 ***
妻の学歴(基準:中学・高校)				
短大・高専・専門学校	0.92	0.86	1.16 *	1.71 **
大学・大学院	0.84	0.89	1.09	2.11 ***
結婚期間スプライン×妻の学歴				
0-1年未満×短大・高専・専門学校	0.85	・	・	・
0-1年未満×大学・大学院	2.20	・	・	・
1-5年未満×短大・高専・専門学校	1.14 **	・	・	・
1-5年未満×大学・大学院	1.24 ***	・	・	・
5年以上×短大・高専・専門学校	1.02	・	・	・
5年以上×大学・大学院	1.01	・	・	・
妻の結婚時の年齢(基準:25-29歳)				
20-24歳	1.14	1.50 *	1.08	1.24
30-34歳	0.75 ***	0.90	0.72 ***	0.70
35歳以上	0.55 ***	0.98	0.51 ***	0.24
親との同別居(基準:同居なし)				
同居あり	1.69 ***	4.55 ***	1.36 ***	1.38
妻の職場での育児休業制度(基準:育児休業制度あり)				
無職	1.04	0.99	1.05	1.04
役員・自営業・家族従業・内職	0.64 ***	0.30 **	0.76	0.51
育児休業制度なし	0.75 ***	0.82	0.72 ***	0.88
育児休業制度があるかわからない	0.70 ***	0.79	0.70 ***	0.67
夫の就業形態(基準:正規雇用)				
役員・自営業・家族従業・内職	1.07	1.63 **	0.94	1.15
非正規雇用・無職	0.92	2.09 ***	0.77 *	0.56
定数	0.05 ***	0.03 ***	0.04 ***	0.01 ***
Person-month数	59603	6430	34265	18908
サンプル数	2273	1143	1887	631
イベント数	71	185	941	145
カイ2乗値	443.85	185.53	142.44	48.49
自由度	21	13	13	13

* p<.1; ** p<.05; *** p<.01

注: 第1回調査時に子どもがいない夫婦と、調査期間中に結婚をした者について、第1子の妊娠が判明するか、妊娠が判明せずに調査から脱落若しくは夫婦の同居関係が解消するまでのデータを集計
調査期間中に結婚をした者については、結婚をした時点からのデータを使用
結婚期間は、各回調査で把握している「同居を開始した年月」からの期間
妻の学歴は、最後に卒業した学校による分類
親との同別居の「同居なし」には親と別居、死別を含む
妻・夫の就業形態「無職」には学生を含む

参考4 図7・8関係

離散時間 complementary log-log モデルによる第2子出生のハザード比

説明変数	出生間隔 exp(b)	説明変数	出生間隔 exp(b)
出生間隔スプライン(年)(基準:0年目)		人口学的要因	
0-3	2.05 ***	第1子出生時の妻の年齢(歳)(基準:25-29歳)	
3-4	0.59 ***	16-19	1.51 ***
4-6	0.81 ***	20-24	1.11 ***
6-10	0.74 ***	30-34	0.72 ***
夫の家事・育児参加		35-39	0.33 ***
夫の育児頻度得点(基準:0-4点)		40-44	0.06 ***
5-9	1.20 ***	居住地(基準:関東)	
10-14	1.27 ***	北海道	0.96
15-18	1.23 ***	東北	1.03
夫の家事頻度得点(基準:0-4点)		北陸	1.10 **
5-9	1.00	中部	1.13 ***
10-18	0.95 **	近畿	1.11 ***
妻の育児不安・育児負担感		中国	1.12 ***
子育ての不安や悩み(基準:少しある)		四国	1.19 ***
すごくある	0.87 ***	九州・沖縄	1.24 ***
ほとんどない	1.09 ***	居住地の市郡規模(基準:その他の市)	
育児負担感得点(基準:0点)		大都市	0.91 ***
1-2	0.96 *	郡部	1.12 ***
3-4	0.90 ***	地域子育て環境(市町村統計)	
5-8	0.75 ***	Ln(産科施設数 対20-39歳女性人口千人)	1.00
妻の就業		Ln(小児科施設数 対20-39歳既婚女性人口千人)	1.00
第1子出生時の妻の就業変化(基準:出産前後無業)		Ln(0-3歳の待機児童数 対0-3歳人口千人)	1.00
非正規雇用-出産退職	1.01	定数	0.019 ***
正規雇用-出産退職	1.18 ***	Person-period数	129319
育休取得で正規雇用継続	1.12 ***	サンプル数	17954
育休取得なしで正規雇用	1.02	イベント数	12602
育休取得なしで非正規雇用	0.94	カイ2乗値	5245.653
世帯の属性		自由度	48
夫の就業状況(基準:中小企業勤務)		*: p<.10, **: p<.05, ***: p<.01	
大企業・官公庁勤務	1.04 **		
自営・家族従業	1.04		
無職・学生・パート等	0.87 ***		
妻の最終学歴(基準:高校)			
中学・中卒資格の専門学校	0.89 **		
高卒資格の専門学校・短大・高専	1.12 ***		
大学・大学院	1.11 ***		
祖父母との同居(基準:別居)			
同居	1.05 **		
第1子の属性ならびに出生状況			
性別(基準:男)			
女	0.98		
早産による低体重児(基準:該当なし)			
該当あり	0.72 ***		
婚前妊娠の有無(基準:なし)			
あり	1.05 *		
出生月(基準:1月生まれ)			
7月生まれ	1.04 **		

右記に続く

注: 夫婦とも子と同居している第1子のうち、第2子が出生するか、第2子が生まれる前に調査から脱落若しくは夫婦の同居関係が解消するまでのデータを集計(第1子が多胎のデータを除く)

第1子出生時の妻の就業変化は、第1子の出産1年前と第1子が6か月時点の就業状況により分類

パート、アルバイト、派遣・契約社員、嘱託、その他を「非正規雇用」とした

夫の就業状況は、企業規模により区分し、500人未満を「中小企業勤務」、500人以上または官公庁を「大企業・官公庁勤務」とした

「無職・学生・パート等」には、アルバイト、内職、その他の仕事を含む

妻の最終学歴は、第2回調査までに卒業または在学した学校による分類

出生時の体重が2500g未満かつ妊娠週数が37週未満の子を早産による低体重児とした

出産の9か月前までに父母が同居を開始していなかった場合に婚前妊娠ありとした

居住地の市郡規模「大都市」は、東京都区部と各回調査時の政令指定都市

参考5 図10 関係

離散時間ロジットモデルによる希望子ども数実現のハザードオッズ比：
妻の希望子ども数2人・3人以上

説明変数	妻の希望子ども数	
	2人 exp(b)	3人以上 exp(b)
希望子ども数聴取時の既存子ども数(基準:0)		
1	0.97	1.04
2	.	0.68
3+	.	0.98
妻の前回出産年齢(基準:25-29歳)		
15-24	0.81	1.29
30-34	0.81 **	1.00
35+	0.49 ***	0.47
結婚期間(基準:5-9年)		
0-4	1.13	0.71
10-14	0.54 ***	0.51 ***
15+	0.12 **	0.10 ***
妻の学歴(基準:中学校・高校以下)		
短大・高専・専門学校	1.17	1.33 *
大学・大学院	1.08	1.00
妻の勤務先における育休制度の利用雰囲気(あり・利用しやすい)		
あり・利用しにくい／どちらともいえない	0.82	0.40 ***
なし	0.74 *	0.58 **
あるかどうかわからない	0.87	0.62
無職	1.07	0.83
親との同別居(基準:同居)		
別居	1.02	0.69 **
夫妻の希望子ども数の差(基準:夫=妻)		
夫>妻	1.14	0.99
夫<妻	0.50 ***	0.49 ***
既存の子どもの性別組み合わせ(基準:男のみ)		
女のみ	1.09	1.09
男女	.	0.98
未就学末子の平日日中の保育者(基準:妻以外の保育者あり)		
妻のみ	0.76 ***	0.80
未就学児なし	0.32 ***	0.66
定数	0.21 ***	0.21 ***
Person-year数	4544	4346
サンプル数	1230	846
イベント数	583	203
カイ2乗値	136.29	103.01
自由度	19	22

* p<.1; ** p<.05; *** p<.01

注: 第1回調査時が夫婦で、初回調査より連続して3回以上回答している者について、希望子ども数を実現されるか、希望子ども数を実現されないまま調査から脱落するまでのデータを集計
妻の学歴は、最後に卒業又は中退した学校による分類
親との同別居の「別居」には死別を含む